



令和5年度 第56号
 令和6年3月12日
 熊本市立本荘小学校
 校長 西川 英臣

令和5年度の学校評価の結果から その2 学力の向上とICTの活用について。やっぱり授業が勝負なのです。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進	
3 授業力向上	4 タブレット端末活用
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。
<p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>教職員・児童・保護者の95%以上が、わかる授業、楽しい授業が実施されているとらえている。しかしながら、「どちらかといえばそう思わない」と回答している児童・保護者も数名いるので、個に応じたわかりやすい授業を実施し、学力向上を推進していきたい。</p>	<p>教職員・児童・保護者の80%以上が、タブレット端末を活用した学習が実施されているとらえている。一方で、どちらかといえばそう思わないと回答している保護者もいるので、効果的なタブレットの活用方法を指導し、家庭学習においても活用するようにしていきたい。</p>

前号からの続きです。今年度の学校評価について分析していきたいと思ひます。保護者の方々からの回答として「そう思う」が6割をこえたのは、大変ありがたいことです。児童からも7割超の評価をいることができました。先生方の日ごろの頑張りが、みなさんに伝わっていることが校長としてうれしく思うところです。9割以上の肯定的な回答をいただいた反面、コメントにあります「どちらかといえばそう思わない」という回答もありますので、現状におごらず、よい授業をしなければならないと思ひます。全職員でこのことを共通理解していきたいと思ひます。

では、「わかる授業」「楽しい授業」とは、どのようなものでありましょか？毎年の学校だよりのどこかでは書いているのですが、「わかる授業」と「楽しい授業」は同じものではありません。「わかるけど楽しくない授業」「楽しいけれどわからない授業」もあります。「楽しくてわかる授業」が理想です。「楽しく」も大笑いするようなギャグの連発では、「楽しい」とは言えません。知的好奇心を刺激し、「やってみよう」「調べてみよう」「試してみよう」と思える授業でなければなりません。時には「わかるけれど楽しくない授業」も必要でしょう。算数の習熟問題や計算練習の反復、漢字の練習、作文の清書など、地道に取り組まなければならない学習活動もあるからです。各学級担任は、教科の学習内容や単元の目標に沿ってそういった授業を組み合わせながら、授業づくりを行っています。私たちは、この点を「プロ意識」をもってやらなければならないところだと考えています。ですので、校長自ら実践しています。



この写真を見てください。「何の写真でしょう」と問います。実は、私が今、授業をしている3年生の社会科で使った写真です。画像が見にくいのですが、歩道橋を工事している写真です。

これまで単元「市のうつりかわり」の中で、「熊本市は時代が進むにつれて便利なものや道路や建物が増えてきた」ということを学習してきた3年生たちは、「歩道橋をつくっている」「歩道橋を修理して、さらに便利にしようとしている」と口々につぶやきます。(裏面へ続きます)

「これはねえ、歩道橋を撤去、つまり、こわしてなくしているのだよ」と説明すると、「おかしい！交通事故をなくすためにつくってきた歩道橋をなくすなんて！！」「歩道橋なくしたら、交通事故が増える。時代とともに車が增えて、交通事故が増えてきたのにおかしい！！」と反論しますが、事実は事実です。この瞬間、子どもたちは「なぜ？なくすのだろう」という主体的な「問い」を持つのです。「問い」を持つので考えます。あらゆる可能性を考慮に入れて事実を分析していきます。自分だけで思いつかないことは、友達と「対話」することで解決していこうとします。タブレット端末を使って調べ始める子どももいました。子どもが主体的に学習をスタートしました。学習をしていく中で「もしかしたら、お年寄りや体の悪い人にとって、歩道橋は大変なのでは」という意見が出てきます。まさにその通りです。この撤去工事は道路のバリアフリー化をねらって行われたものです。ただし、すべての歩道橋が撤去されるわけではありません。スロープを付けたり、エスカレーター式にしたり、エレベータを隣接したりすることでも、バリアフリー化は可能です。この学習で、子どもたちは「今までは、熊本市の過去から現在を調べてきたけれど、これからの未来についても考えなければならぬ」と考えていきました。（現在、考え中で、もうすぐロイロノートで校長先生に送られてくる予定です）担任の原田先生の協力のもと、「楽しく、考え、そしてわかる授業」に取り組んでみた校長先生でした。実は、これは私のオリジナルの展開ではありません。「わたしたちの熊本」という社会科の副読本にちゃんと掲載されている学習内容なのです。教科書や副読本は大変吟味してつくられており、子どもたちの主体的な学習を保障するよう編集されています。私たち教師は、その教科書を使って、さらに子どもが解決したい学習に高めていくことが使命なのです。ぜひ、ご家庭のご協力もお願いいたします。

その昔、私の尊敬する先生が、「私たちの仕事は、『教師が教えたこと』を『子どもがやりたいこと』に変換することなのです」と教えてくださいました。本庄小学校では、そのような授業が日々、各教室で行われるように研究と修養を続けていきたいと思ひます。（校長）

校長先生の虫眼鏡 「GIGA スクール構想について」

GIGA スクール構想って聞かれたことありますか。熊本市はコロナ前後から全国に先駆けて、先進的にICTを取り入れた教育を推進してきました。しかし、そこに甘んじてはいけません。日本全国で同様の教育が行われているのです。

参照：[GIGA スクール構想のもとでの各教科等の指導について【概要】 \(mext.go.jp\) https://www.mext.go.jp/content/20210713-mxt_kyoiku01-000016371.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210713-mxt_kyoiku01-000016371.pdf)

GIGAスクール構想のもとでの各教科等の指導について【概要】

各教科等の指導においてICTを活用する場合の基本的な考え方

新学習指導要領に基づき、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、子供や学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要。

各教科等の指導における1人1台活用事例

Point① 各教科等の特質に応じた活用事例を紹介

Point② 標準仕様に準拠しており、全国の学校において参考とすることが可能

<資質・能力の三つの柱>

学び終え人生や社会に
活かす力をつける
学びの意欲や
人間性の涵養

生きて働く知識及び
技能の獲得

未知の状況に適切に
対応する力、問題力、
読解力等の育成

教科等	学年	活用したソフトや機能	活用事例
国語	小学校・第2学年 国語科	【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト、写真・動画撮影機能	<p>伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができるよう指導する。</p> <p>自分や友達の発表の練習を動画で撮影し、聞き手の立場に立ってそれを視聴し合うことで、伝えたい事柄などを特に大きな声でゆくり話すと、発表する立場からだけでは気付くことが難しい点について修正できる。</p> 
算数、数学	中学校・第1学年 数学科	【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト（ファイルの転送・共有）等	<p>ヒストグラムの必要性と意味を理解することができるよう指導する。</p> <p>クラウドに保存したクラスの学習時間に関する図表データを基に、各自で分析と考察を行うようにする。確認欄の変更等、短時間でヒストグラムを作り替えることができることにより、試行錯誤して考察する時間を長く確保できる。</p> 
理科	小学校・第3学年 理科	【活用したソフトや機能】 写真撮影機能、プレゼンテーションソフト	<p>物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能や主に差異点や共通点を基に問題を見いだす力、主体的に問題解決しようとする態度を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>粘土の形を変える度に、その形を絵で描くだけでなく、写真撮影し、その時の粘土の重さを記録することで、粘土の量に変化がないことを意識させやすくなるのが期待できる。また、実験結果をクラウド上で共有することで、他の班の結果も確認して、「どの班でもそうなのかな」という再現性の条件を容易に検討することができる。</p>  

